

# Elfinote

## オーディオシステム 調和 取扱説明書



このたびはエルフィノートの製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

### 安全上のご注意

- 万一、下記状況が発生したら、「205 和」本体の電源スイッチを切り、必ず AC プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
  - ・ 「205 和」から煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態とき
  - ・ 「205 和」の内部に水や、金属粉、金属片などの異物が入ったとき
  - ・ 「205 和」を落としたり、キャビネットを破損したとき
- 本システムは、保守員以外の方が分解・修理・改造などをしてしないでください。分解・修理・改造などをすると正しく動作しなくなるばかりでなく、火災・感電の原因になることがあります。内部には電圧の高い部分があり危険です。また、真空管の差し替えや交換は絶対にしないでください。真空管が損傷する場合があります。
- 電源ケーブルは必ず付属されている指定のケーブルを使用してください。AC100V 50/60Hz用です。これ以外の電源電圧や AC ケーブルで使用すると、故障や火災・感電の原因になります。
- 「205 和」の電源スイッチをオン状態からオフ状態にした後、再びオン状態にする場合は、最低3分間オフ状態を続けてからオン状態にしてください。瞬時ではありますが、真空管に過大な電流が流れて真空管が損傷することがあります。
- 「205 和」は風通しの良い環境に設置し、「205 和」の背面・天面・側面から最低3cm以上の空間を確保してください。故障の原因となります。
- 「205 和」の動作中、真空管は高温になっていますので、保護用ボンネットは必ず装着してください。火傷の原因となります。特に小さなお子さんのいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本システムの下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、重い物を載せていても気付かない場合があります。
- 本システムを直射日光が当たる場所などに設置しないでください。「001 調」のエンクロージャーや、「205 和」のサイドウッド、フロントウッドが劣化するだけでなく、音質の劣化にも繋がります。
- 金属粉などの埃が生じる場所で使用しないでください。中に入った場合、「001 調」のスピーカーユニットや「205 和」の故障の原因になります。
- 本システムに水をかけたり、濡らさないようご注意ください。また、花瓶、植木鉢、化粧品、薬品や水などが入った容器や、小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、「001 調」のエンクロージャー、「205 和」のサイドウッドやフロントウッドが損傷したり、「001 調」のスピーカーユニットが故障するだけでなく、火災・感電の原因となります。
- 本システムの上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

## 本システムの特徴

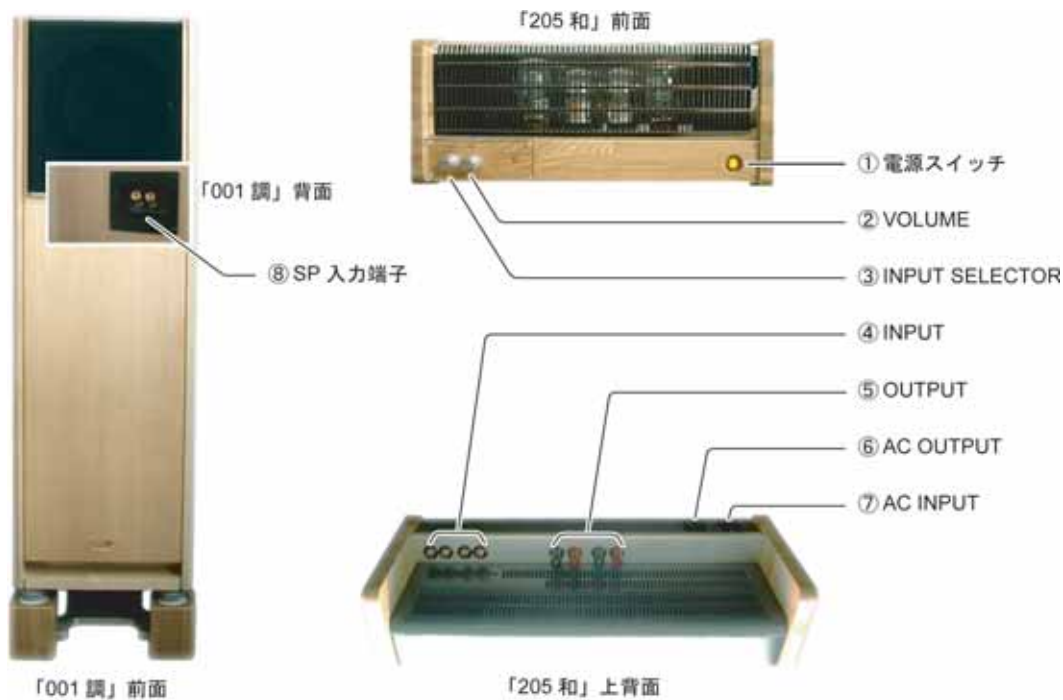
「オーディオシステム調和」は、KT66 ステレオパワーアンプとスピーカーからなる基本ステレオシステムです。本システムは、お好きなCDプレーヤーやDVDプレーヤー/レコーダーなどのソース機器を接続し、ステップバイステップでグレードアップできる、音楽から映像までを良質音でお楽しみいただくために企画・開発されました。



## 構成品の確認

(本体)	「205 和」KT66 シングルステレオパワーアンプ：	1 台
	「001 調」LOWTHER PM6A 搭載スピーカー：	2 台
	専用スピーカー台 スパイクインシュレーター付 (別売)：	2 本
(付属品)	ステレオパワーアンプ用 AC ケーブル：	1 本
	ステレオパワーアンプ用 AC ヒューズ 4A：	2 本
	スピーカーケーブル 2m：	2 本

## 各部の名称とはたらき



電源スイッチ：	電源をオン/オフします。
VOLUME：	CDプレーヤーなどのソース出力の音量を調整します。左に回すと音量小、右に回すと音量大になります。
INPUT SELECTOR：	ソース機器を選択します。
LINE1：	INPUTのLINE1に接続されたソース機器を選択します。
MUTE：	音声を消去します。
LINE2：	INPUTのLINE2に接続されたソース機器を選択します。
INPUT：	CDプレーヤーなどのソース機器と接続する入力端子です。LINE1とLINE2の2チャンネルが用意されており、赤がR(右)、黒がL(左)です。
OUTPUT：	「001 調」を駆動する8出力端子です、赤が(+)、黒が(-)です。LEFTは左側のスピーカー、RIGHTは右側のスピーカーを駆動します。
AC OUTPUT：	ノイズフィルターを通過した後のAC100V予備コンセント(3P)です。
AC INPUT：	「205 和」に電源を供給する入力コンセント(3P)です。
SP入力端子：	「001 調」の8入力端子です。「205 和」のOUTPUTと接続します。赤が入力、黒がGNDです。

## 基本システムの接続

- 1 「205 和」の 電源スイッチがオフされている状態(スイッチが押し上がった状態)であることを確認します。
- 2 専用スピーカー台にスパイクインシュレーターを4個づつ取り付けます。その後、スパイクインシュレーターのくぼみに合わせて各々のスピーカーのスパイクを置き、それぞれのスパイクで高さ調整、がたつきをなくします。
- 3 付属のスピーカーケーブルで、「001 調」の左右それぞれの SP 入力端子と「205 和」の OUTPUT に接続します。この時、端子色が同じ色同士を接続し、且つ、左右の接続を間違えないように接続します。
- 4 付属のステレオパワーアンプ用 AC ケーブルのメスプラグ側を AC INPUT に差込み、オスプラグ側をコンセントに差し込みます。
- 5 「205 和」の 電源スイッチを押してオンします。
- 6 「煙がでる」、「ヒューズが切れる」などの異常が起きなければ、電源オンのまま、左右のスピーカーに耳を近づけ、わずかに「サー」というわずかな音が聞こえれば正常に動作しています。  
これで、以下の構成例のように接続すれば、素晴らしい音を聴くことができます。

- 注意**
- 電源スイッチを押した時に、時々、「205 和」から「ブン」という音がすることがありますが、これは異常ではありません。最終的にはスピーカーから出る音で正常かどうか、ご判断ください。
  - 万一、異常を感じたら、直ちに電源をオフし、コンセントからACケーブルを抜いて、弊社サービス部門までご連絡ください。

## ソース機器との接続

### 事前にご準備いただくソース機器 (構成例)

- 音楽再生のみ： CD プレーヤーまたは SACD プレーヤーなど。  
音楽再生 + 映像再生： マルチプレーヤーまたは DVD プレーヤー / レコーダー、 デジタルテレビ など

- 他機器のご購入時、各機器の仕様がお客様の使い方に合っているか、十分お確かめください。
- プレーヤーによって音色や音質が異なりますので、ご購入時にお客様ご自身で十分なお検討をお願いします。
- 質の高い再生音をお望みの場合、それぞれのソース機器に光音声出力端子が装備されたものを推奨します。
- すべてのメディアに質の高い再生音をお望みの場合、D/A コンバーター (DAC) を追加、あるいはDAC 搭載の CD プレーヤー (CD/DAC) か SACD プレーヤー (SACD/DAC) などを選択することを推奨します。

### 構成例 1 音楽再生のみ

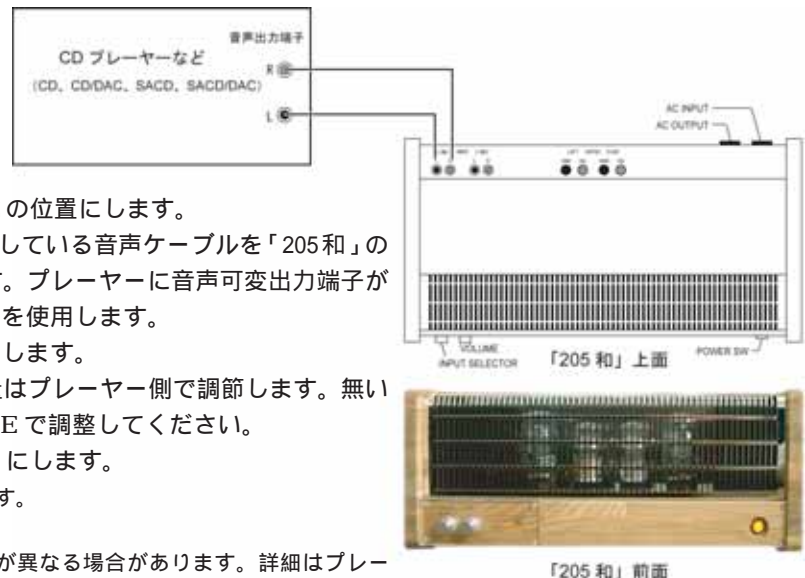
CD プレーヤーまたは SACD プレーヤーなどをご用意ください。

- 注意**
- 質の高い再生音をお望みの場合、CD/DAC または SACD/DAC を用意していただくことを将来のシステムアップのためにも推奨します。最も質の高い再生音をお望みの場合、DAC と、CD プレーヤーまたは SACD プレーヤーを用意していただくことを推奨します。また、プレーヤーに音量調整機能が搭載されていると、リモコン動作環境での操作が可能になることがあります。

### 接続方法

- 1 すべての機器の電源スイッチを切り、「205 和」の VOLUME を最小にし、INPUT SELECTOR を MUTE の位置にします。
- 2 お手持ちのプレーヤーなどに付属している音声ケーブルを「205 和」の INPUT の LINE1 に接続します。プレーヤーに音声可変出力端子が装備されている場合は、その端子を使用します。
- 3 プレーヤー側の音量出力を最小にします。
- 4 「205 和」の音量を最大にし、音量はプレーヤー側で調節します。無い場合には「205 和」の VOLUME で調整してください。
- 5 INPUT SELECTOR を LINE1 にします。  
LINE2 は予備として未使用にします。

- 注意**
- プレーヤーによって接続方法が異なる場合があります。詳細はプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

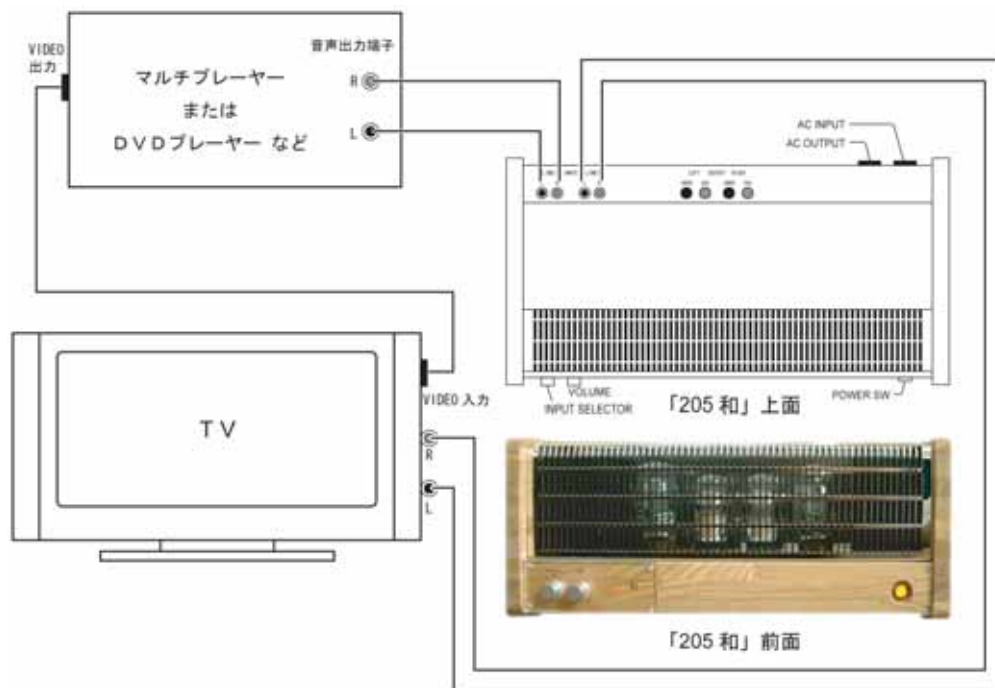


## 構成例 2 映像と音楽再生

マルチプレーヤーまたはDVDプレーヤーと、デジタルテレビなどをご用意ください。

- 注意**
- 将来、DAC、CD/DAC、SACD/DACを購入して質の高いサウンドを得たい方は、それぞれのソース機器に光音声出力端子が装備されたものを推奨します。「205和」の最大パワーを引き出し、満足のいく音量感を得ることができます。

### 接続方法



- 1 すべての機器の電源スイッチを切り、すべての機器の音量を最小にします。
- 2 「205和」の INPUT SELECTORをMUTEの位置にします。
- 3 お手持ちのプレーヤーなどに付属している音声ケーブルを「205和」の INPUTのLINEに接続します。プレーヤーに音声可変出力端子が装備されている場合は、その端子を使用します。
- 4 「205和」の音量を最大にし、音量はプレーヤー側で調整します。無い場合には「205和」の VOLUMEで調整してください。
- 5 接続したソース機器に従って、INPUT SELECTORをLINE1またはLINE2にします。

- 注意**
- プレーヤーやテレビによって接続方法が異なる場合があります。詳細はプレーヤーやテレビの取扱説明書をご覧ください。
  - CDプレーヤー等のデジタル機器のアナログ音声出力は、2V/rmsとなっています。しかし、マルチプレーヤー、DVDプレーヤー、テレビ等のアナログ音声出力は、一般的にソース機器によって出力電圧が300mV/rms ~ 2V/rmsの範囲とさまざまです。このような場合、CDプレーヤー等のデジタル機器に比べて、選択するソース機器によっては増幅後の音量が小音量となり、音量不足を感じる場合があります。この場合、ゲイン16dB以上の出力可変型アナログ増幅器を「205和」とソース機器の間に接続してご使用下さい。
  - 1チューナー搭載のDVDレコーダーをお使いの場合、映像再生中に録画モードに移行すると、録画モードが優先され録画中の映像と音声に変わります。

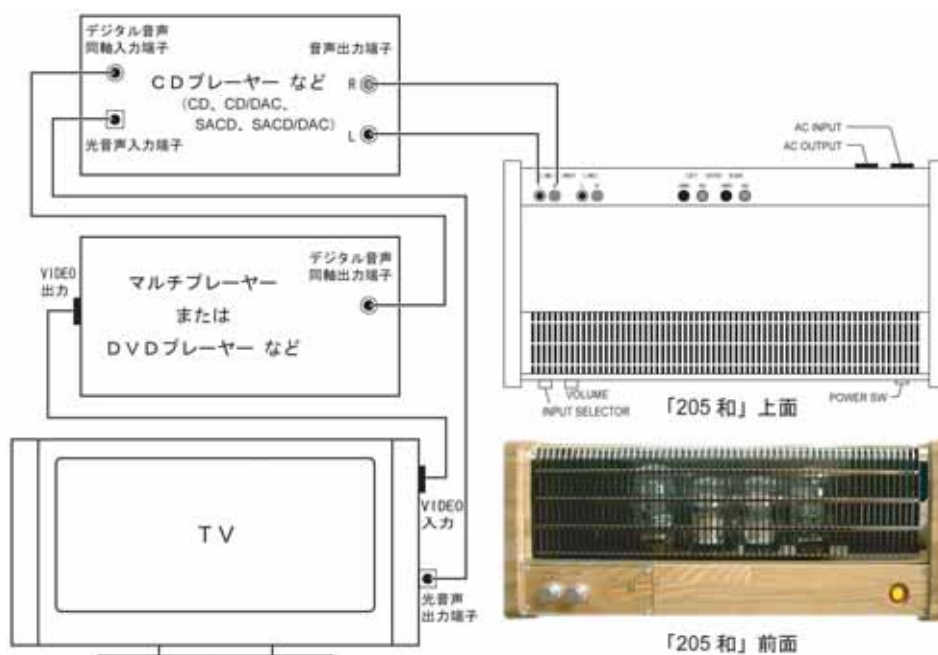
### 構成例3 映像と高品質な音楽再生

CD/DAC、SACD/DACをサウンドステーションにして、マルチプレーヤーまたはDVDプレーヤーと、デジタルテレビなどをご用意ください。音質をさらに向上させるためには、ソース機器の選定時に高級DACをお選びください。

ここでは、光と同軸（光）のデジタル入力を2チャンネル搭載したCD/DAC、SACD/DACのみに限定して解説します。

- 注意**
- CD/DAC、SACD/DAC、DACのグレードによって、音色や音質が異なりますので、お客様ご自身でご購入時に十分な検討をお願いします。多くのソース機器と接続することも考慮し、光音声入力端子の数を、接続するソース機器のチャンネル数に合わせてCD/DAC、SACD/DAC、DACを選択することを推奨します。また、音量調節機能が搭載されたCD/DAC、SACD/DAC、DACを選択すると、快適な操作環境を手に入れることができます。

### 接続方法



- 1 すべての機器の電源スイッチを切り、すべての機器の音量を最小にします。
- 2 「205和」の INPUT SELECTORをMUTEの位置にします。
- 3 お手持ちのプレーヤーなどに付属している音声ケーブルを「205和」の INPUTのLINEに接続します。プレーヤーに音声可変出力端子が装備されている場合は、その端子を使用します。
- 4 「205和」の音量を最大にし、音量はプレーヤー側で調節します。無い場合には「205和」の VOLUMEで調整してください。
- 5 接続したソース機器に従って、INPUT SELECTORをLINE1またはLINE2にします。

- 注意**
- プレーヤーやテレビによって接続方法が異なる場合があります。詳細はプレーヤーやテレビの取扱説明書をご覧ください。
  - LINE2は、CD/DACやSACD/DACのデジタル音声入力端子の使用状況によって、LINE1に入力できないソースをアナログ音声として「205和」に接続する場合に使用します。この場合は、構成例2の注意で解説したように、機器によって出力電圧が異なりますので音量不足になる場合があります。この場合、アナログ増幅器を「205和」とソース機器の間に接続してご使用下さい。
  - 1チューナー搭載のDVDレコーダーをお使いの場合、映像再生中に録画モードに移行すると、録画モードが優先され録画中の映像と音声に変わります。

## 仕様

### [001 調]

エンクロージャー :	テイパード・チューブ・ローディング方式 (高さ可変型専用スパイクをエンクロージャー底辺に装備)
スピーカーユニット :	ローサー PM6A
ボイスコイルインピーダンス :	公称 8
最大入力 :	60 W
ミュージックパワー :	100 W
再生周波数帯域 :	45 Hz ~ 20,000 Hz
最低共振周波数 :	30 Hz
寸法 :	幅 310 mm × 高さ 1020mm (専用スピーカー台取付時1120mm) × 奥行 390 mm
重量 :	21.3 kg/体 (専用スピーカー台取付時 24.5 kg/体)
仕上げ :	クリアウレタン仕上げ (ウッド部のみ)

### [205 和]

電源 :	AC100 V 50/60 Hz 400 VA
消費電力 :	110 W
出力部形式 :	KT66 シングルエンド
使用真空管 :	KT66 × 2、71A × 2、5692 × 1
出力 :	7 W × 2
再生周波数帯域 :	20 Hz ~ 100 kHz
残留雑音 :	1 mV 以下
高調波歪 :	3% 以下 / 3.5 W    4% 以下 / 5.5 W    5% 以下 / 7 W
入力感度 :	3.5 W / 2.0 Vrms    5.5 W / 2.5 Vrms    7 W / 3.0 Vrms
ソース入力数 :	2 チャンネル
入力インピーダンス :	公称 50 k
出力インピーダンス :	公称 8
寸法 :	幅 482mm × 高さ 220 mm × 奥行 275 mm
重量 :	24.5 kg
仕上げ :	クリアウレタン仕上げ (ウッド部のみ)

## お客様ご相談センター

〒 230-0046 横浜市鶴見区小野町 75-1 リーディングベンチャープラザ 1 号館 204

**TEL 045-502-3561**

ご相談受付時間

10:00-12:00・14:00-16:00

(土・日・祝日・当社休日を除く)

### エルフィノート・テクノロジー株式会社

〒 231-0023 横浜市中区山下町 12 番地 2-412

TEL 045-663-6526・FAX 045-663-6550

<http://www.elfinote.com>